



特集

勇壮なはね太鼓を、 世界に広める。

銚子市

手賀沼の風景に魅せられて 「白樺派」が集った文学の道

家の中に温度差をつくらない工夫で、 住む人も住まいも健康に。

危ないヒートショックも嫌な結露も
室温と湿度のコントロールで解決



2012 ● 秋・冬号 No.5

contents



撮影者の手帖から：君ヶ浜は、犬吠埼に隣接した約1キロの海岸線で、白砂青松と豪快な太平洋が眺望できる場所だ。平成8年7月に「日本の渚・百選」に選ばれている。ここからは犬吠埼の先端にそそり立つ白垂の塔、犬吠埼灯台もよく見える。犬吠埼灯台は1874(明治7)年、英国人ブラントンの設計により造られたもので、日本で24番目に点灯された灯台である。



04 きずな特集 勇壮なはね太鼓を、世界に広める。

銚子市

08 いわしの旨味を丸ごと食す 銚子の「つみれ汁」

10 千葉 物語の散歩道 手賀沼の風景に魅せられて 「白樺派」が集った文学の道

14 HOUSING 住宅 家の中に温度差をつくらない工夫で、住む人も住まいも健康に。 危ないヒートショックも嫌な結露も室温と湿度のコントロールで解決

16 いきいきヘルシーアップ 大人も子どもも一緒に楽しめる 新しいスポーツ「スカイクロス」

18 健康度チェック&チェック 第5回「疲労度チェック」

20 暮らしのマナー情報 一時払い終身保険

22 無理なく楽々できる! HAPPY ECO LIFE 省エネで環境にもやさしい エコ掃除を意識しよう

23 育てる 味わう 楽しむ ハーバルライフ 第5回「タイム」

好きだからここに。千葉がふるさと

— 銚子市 —

きずな特集

勇壮なはね太鼓を、世界に広める。

銚子はね太鼓保存会



九十九里の漁師たちが祝い事でまとう万祝半纏まいわいはだてんに、きりりと結んだ鉢巻が凛々しい。赤い着物姿の女の子たちが華を添える。渾身の力で繰り出される、体を突き上げるような音と、勇壮な踊りが特徴の「銚子はね太鼓」。銚子の川口神社で催される「大潮祭り」や町内の祭りで、神輿みこしを先導するお囃子はやしとして地元の人々に親しまれ続けている。

始まりは江戸末期の元治元年（1864年）。イワシの豊漁に沸き返った銚子の町では、これを祝い、海神への感謝を表す祭りのために勇壮な太鼓踊りを生み出した。2人の打ち手が太鼓を首とあばらで支え、打つては跳ね、跳ねては回り、太鼓もろとも宙に舞う。銚子という骨太な町の活気が、はね太鼓のリズムに凝縮されたのだろう。このはね太鼓の響きを保存し、日本中に、そして世界に広めようと活動しているのが、銚子はね太鼓保存会だ。





心に直接響く
コミュニケーションが
地域を越えて
人々を結びつける。





銚子市の飯沼観音の傍にはね太鼓を記念して作られた碑が2009年6月に設置された

身体を張った太鼓で 銚子から世界にチャレンジ

銚子市内では現在のはね太鼓を受け継ぐ25のグループがあるという。町内ごとにはリズムや節回しに微妙な違いがあり、なかには町内から外には出さない秘曲を継承する地域もある。それが銚子のはね太鼓の層の厚さを生み出している。青果店を営む宮崎会長がはね太鼓を始めたのは25歳のとき。以来はね太鼓の響きのとりこになった。

「こんな素晴らしい太鼓を、銚子に埋もれさせておくのはもったいない。世界中にもっと広めたい」。同じ夢を抱いていた長谷川勇さんとの出会いがあり、結成したのが「銚子のはね太鼓保存会」だ。折りしも堀江謙一氏がヨットで太平洋を単独横断に成功し、サンフランシスコのゴールデンゲートブリッジをくぐり抜けた年。その快挙に感動した宮崎さんたちは、将来かの地ではね太鼓を叩こうと誓い合ったという。

「太鼓は1張が1台数十万円する高価

なもの。最初は借金をして買った2張の太鼓で始めて、全国各地の祭りや太鼓を打つ機会をもらいながら、はね太鼓の普及に努めてきたのです」。そう語るのは相棒の長谷川さんだ。

宮崎さんたちのはね太鼓は原型を崩さない正調の演奏を受け継いでいる。しかし、公演で何曲も演奏する際には、それだけでは若い層の注目を集めるのが難しい。そこで約15曲のレパートリーの中には、「見せる太鼓」として速いテンポで見せ場を演出した曲もある。二人組で大きな太鼓を支え、柔道の技のように倒した相手の体の上で叩く。他のペアとぶつかり合いながら叩く。あたかも格闘技のような激しい動きで、宮崎さんは稽古中にあばら骨を3回折り、アキレス腱を1回断裂したという。

はね太鼓の力強い響きで 多くの人々を力づけたい

やがてテレビなどからも声がかかりはじめ、ある番組ではSMA Pに太鼓を指導。1988年、マイケルジャクソン来日公演の歓迎レセプションで、太鼓を披露し、マイケルからアンコールをもらった。海外公演の数は数え切れない。女性歌手のデイオンヌ・ワーウィックとも競演したアメリカ・ウイスコンシン州のフェスティバルでは、大トリを務めて

アメリカの観客を大いに沸かせた。欧米、アジア、アフリカ……。メンバーの中には海外公演参加で、パスポートが最後のページまでスタンプで埋まったという人もいる。太鼓で世界と交流する。その活動に共鳴する人たちが加わって、現在は会員が約30名に増えた。銚子市の外から参加する人も多い。「囃子の粋な楽しさに魅せられて、親子で参加するようにになりました」という石橋秀隆さんは、匝瑳市から稽古に顔を出す。

「公演では客席に飛び出してお客さんに叩いてもらうことも。場の流れに応じて変幻自在なのが祭りの太鼓です。演奏のたびに作曲しているようなもの。だからお客さんも2度、3度と見に来してくれるんです。そう語る越川昭一さんは銚子市の職員だ。他にも内装業、板金業、食品会社、IT機器会社など職種は幅広い。銚子の千葉科学大学で職員として勤める菊地彩夏さんは、4月



アメリカ・ウイスコンシン州でのフェスティバルに出演



千葉科学大学で国際交流の一環で行われた留学生の送別会にも参加。留学生も太鼓に挑戦した

に同校を卒業したばかり。この日は母校に文化交流で訪れたアメリカとブラジルの学生が帰国することになり、その送別会で公演を行った。海外からの学生たちが食い入るように見つめる中ではね太鼓を披露。会場は大いに盛り上がった。

「人を楽しませて笑顔にするのが好き。銚子の町と大学を元気にしたい」。菊地さんは目を輝かせる。はね太鼓には人を力づけるパワーがある。大震災後には、津波の被害を受けた旭市の仮設住宅で「復興太鼓」として演奏。郷土に根ざした響きが被災した人々を元気づけるのに一役買った。銚子に生まれたのはね太鼓のシンプルで直接心を打つ響きが、世代や地域を越えて、人々の心を結び付け始めている。



いわしの旨味を丸ごと食す 銚子の「つみれ汁」



**歯ざわりの違いまで楽しむ
銚子の人々に愛される味**

いわしには年に二度の旬がある。最初は梅雨どきの「入梅いわし」。この時期、銚子では「入梅いわしまつり」が催されて、時分の味を存分に堪能できる。10月から11月にかけての秋のいわしも、旨さではまったく引けをとらない。美味^{おい}しいいわしを見分けるには目の澄み具合と身の厚みを見ることだ。

「新鮮な魚は目が充血しておらず澄んだ目をしています。身の厚いのはしつかりと脂が乗って旨味がつまってる証拠。料理するとジューシーでふつくらした味わいが最高です」。そう教えてくれるのは「銚子さかな料理かみち」の土地真弘さんだ。獲れたてのいわしを刺身に仕立て、地元名産の醤油に軽く浸せば、漆黒の闇に脂がふわりと花火のように咲く。口に運べばまったりと濃厚な旨味が広がる。

いわしの旨味を余すところなく味わう料理として、銚子の人々が愛するのがつみれ汁。焼いたり煮たりしたのでは、せつかくの脂を外に逃がしてしまふ。汁物ならば溶け出した旨味まですべて残さずいただける。旨味をたたくて黄金色に光るだし汁はそれだけで御馳走だ。手開きにして骨と皮をはずしたいいわしは、粗く刻んだ後で、菜味と合わせてなめろうのように包丁で叩く。食感を楽しんでほしいから、すり

銚子のつみれ汁

【材料】4人分

- 真いわし(大羽のもの) 5尾
- 長ねぎ(みじん切り) 1/2本
- しょうが(みじん切り) 50g
- 味噌 30g
- 片栗粉 少々
- 大根 150g
- 人参 100g
- 長ねぎ(小口切り) 1/2本
- だし 適量

※大根と人参は薄いいちょう切りにして下茹でしておく。



1 いわしは頭を落とし、はらわたを取り除く。水で洗ってペーパータオルなどで水気をふき取り、手開きにして腹骨をすき取って皮をむく。



2 いわしをざく切りにして、長ねぎ、しょうが、味噌、片栗粉を加えて粘りが出るまで包丁で細かく叩く。



3 鍋にだし汁を入れて薄口醤油、塩で薄味をつける。沸騰したら**2**を食べやすい大きさに丸めて入れる。火が通って浮いてきたらザルに上げる。



4 **3**の汁をペーパータオルなどで漉して、塩で好みの味に調えたら、大根、人参、つみれを入れて温める。



5 **4**を椀に盛って小口切りにした長ねぎを天盛りにして添える。



銚子さかな料理 かみち
銚子市西芝町13-6 TEL0479-22-5520
<http://www12.ocn.ne.jp/~kamichi/>

鉢は使わずに身の歯応えを少しばかり残すのが、かみち流だ。その名の通りいわしをつみ入れるのに、手が汚れることなど案じてはならない。「脂が乗った時期のつみれは口の中でほどけるような舌触りに。冬場にはしつかりと歯ごたえがあるように練る。季節ごとの変化を楽しんでいただいています」というのは料理長の石橋豊さんだ。銚子駅前店を開いて45年になるかみちは、もともと鮮魚店として銚子漁港の入札権をもつ店。今も揚がった魚を直接買い付けてその日のうちに客に出す。銚子の前浜で獲れた鮮度のいい魚がなければ、たとえ観光シーズンでも刺身は出さない。港町ならではの心意気があればこそ出せる味が、そこにある。

我孫子市

手賀沼の風景に魅せられて

「白樺派」が集った文学の道

明治末期から大正時代にかけて志賀直哉や武者小路実篤、バーナード・リーチなどをはじめとする多くの小説家や陶芸家、画家などが参加し、日本の文芸・芸術の発展に大きな影響を与えた「大ムーブメント」が白樺派です。その同人の多くが住居や別荘を構えていたのが、実は我孫子市の手賀沼周辺。今回は芸術家たちにインスピレーションを与え続けた風景を訪ねてみましょう。

手賀沼に芸術家が集結した
きつかけは柔道家・嘉納治五郎

白樺派は明治43年、学習院の同窓の作家たちが、同人誌「白樺」を創刊したことをきつかけに始まった文芸運動です。大正デモクラシーと呼ばれるモダンで自由を謳歌した時代。白樺派の作家たちは理想主義や個人主義といった旗印を掲げながら、「暗夜行路」、「お目出たき人」、「或る女」などの傑作を続々と生み出していきます。

小説家のみならず陶芸家、画家も参加し、白樺派はまさに総合芸術の一大ムーブメントへと発展しました。この白樺派を代表する作家たちが移り住んできたのが、我孫子の地。彼らは手賀沼のほとりに住居を構えていわば芸術家村のようなコミュニティをつくり、親睦を深めながらそれぞれの創作活動に励んでいたのです。当時上野から我孫子までは列車で約1時間。同じ



我孫子市ゆかりの文化人の碑

駅前ロータリーには白樺派の碑が建てられています。写真は後列の左3人目から武者小路実篤、柳宗悦、志賀直哉。



アビシルベ

我孫子市の観光情報満載のインフォメーションセンター。

- 開館時間 9:00~18:00
- 休館日 年末年始(12月29日~1月3日)
- 我孫子市本町2-2-6
- TEL04-7100-0014



安井家

我孫子のお土産といえばこの店。ほろ苦さが後を引く「ざっこのつくだ煮」や「我孫子市ふるさと産品」に選ばれた「うなぎの大和煮」が人気。

- 営業時間 9:00~19:00
- 定休日 水曜日
- 我孫子市本町3-5-1
- TEL0120-353-698



杉村楚人冠記念館

和洋折衷式の建物のほか、楚人冠が自ら作った井戸や池、さまざまな木々が残されている庭園など見ごたえあり。

- 開館時間 9:00~16:30(入館は16:00まで)
- 休館日 月曜日(祝日の場合は翌日休)、12月29日~1月3日
- 入館料 大人300円、大学生・高校生200円、小・中学生100円
- 我孫子市緑2-5-5
- TEL04-7182-8578



山一林組製糸工場跡

駅を出てすぐ左手の大型商業施設が建つ場所は1906年に創業された製糸工場の跡地で、最盛期には300人を超える女工たちが働いていました。





く芸術家たちが集まり住んでいた鎌倉になぞらえて、我孫子の地は後年「北の鎌倉」とも呼ばれました。

我孫子に白樺派の人々が集結したきっかけは、講道館を創設した柔道家で教育者でもあった嘉納治五郎が、我孫子に別荘を構えたことでした。実は嘉納は白樺派の中心的人物の一人である柳宗悦と、叔父・甥の関係。嘉納が柳を呼び寄せたのを機に、次々と白樺派のメンバーがこの地に移り住んできたのです。

JR我孫子駅を手賀沼がある南口方面に降り立ち、別荘が集まっていた辺りを目指しましょう。まず訪ねてみたいのが杉村楚人冠記念館。楚人冠は東京朝日新聞で健筆をふるったジャーナリストで、この地で我孫子の人々と風景を生き生きと描いた随筆「湖畔吟」を執筆しました。昨年楚人冠の旧邸を整備した記念館が完成。大正から昭和にかけて建てられた、文人の住まいの雰囲気がかがえます。



湖庵

契約農家から取寄せて自家製粉した十割そばを目当てに遠方からも客が訪れる店。からりと揚がった天せいろ、穴子せいろが大人気。

- 営業時間 11:30~15:00
17:30~20:00
- 定休日 月曜休(祝日の場合は翌日休)
- 我孫子市若松139-3 宝ビル101
- TEL04-7184-0041



嘉納治五郎別荘跡

木の生い茂る佇まいに当時の名残が感じられます。この真向かいにある三樹荘は個人宅のため非公開。

- 開館時間 9:00~16:00
- 定休日 火曜日
- 我孫子市緑1-10



天神坂

白樺派の文人たちが行き来した天神坂。



記念館の出入り口から左に曲がって住宅街を進むと、木が生い茂るなかを手賀沼の方向に下りる坂にたどり着きます。天神坂と名づけられたこの坂の入口に向かつて、左が嘉納治五郎の別荘跡。そして右側が「三樹荘」と呼ばれた柳宗悦の住居跡です。当時、柳は声楽家だった妻の兼子と新婚生活を始めたばかり。新居からは兼子の歌声が手賀沼に向かつて響き渡ったと言います。白樺派の同人たちに銅版画の手ほどきをしていたイギリス人パーナード・リーチは、柳宗悦の影響で三樹荘内に窯を設けて陶芸を始めました。三樹荘は現在個人宅で内部は非公開ですが、名前の由来となった3本の椎の木が現在も立っています。嘉納治五郎の別荘跡からは遠くに手賀沼が見晴らせます。

閑静な木立の中に建つ書齋で傑作を書き残した志賀直哉

天神坂を下りるとそこはハケの道と呼ばれる小道。古くからある煎餅店の方にお話をうかがうと、「白樺派の方々が住んでいた当時、手賀沼の水辺はこの近くにまで迫っていました。主人の祖母はこの道を武者小路先生の家まで行かれる志賀先生と、よく茶飲み話をしていたそうです」と教えてくれました。道沿いにある白樺文学館には、志賀直哉と夏目漱石の往復書簡のほか、白樺派に関する

さまざまな資料、竹久夢二の絵画、白樺派と交流があったロダンの彫刻などが展示されています。文学館を出てさらに進むとすぐ左手にあるのが志賀直哉の住居跡。もともとは木立の中に一軒家が建っていました。現在では書齋だけが残されています。志賀は閑静な佇まいの中で「和解」や「城の崎にて」などの代表作を書き上げました。スポーツ万能で学生時代にはボート競技でも活躍した志賀は、この場所から自ら小船を漕いで武者小路宅を訪れたこともあったようです。

「雪の日 我孫子日誌」という小品で、志賀は当時の手賀沼の風景をこう記します。「書齋から細い急な坂をおりて、田圃路に出る。沼の方は一帯に薄墨ではいたようになって、何時も見えている対岸が全く見えない。沼べりの枯葎が穂に雪を頂いて、その薄墨の背景からクッキリと浮き出している。その葎の間に、雪の積もった細長い沼船が乗捨てである。本当に絵のようだ」。嘉納の誘いで我孫子にやって来たのは柳だけではありません。嘉納が校長を勤めていた熊本第五高等学校の学生だった村川堅固もその一人。嘉納の秘書を経て村川は東京帝国大学で西洋史専攻の大家になります。村川が大正6年に設けた別荘が残されています。昭和3年に建てられた新館では、広間の大きなガラス窓を通して手賀沼が一望できました。



白樺文学館

- 雑誌「白樺」の原本や作家たちの原稿のほか、竹久夢二や武者小路実篤の絵画、パーナード・リーチの花瓶等を展示。
- 開館時間 9:30~16:30
 - 定休日 月曜休(祝日の場合は翌日休)、12月29日~1月3日、その他臨時休館日
 - 入館料 大人300円、大学生・高校生200円、小・中学生100円
 - 我孫子市緑2-11-8
 - TEL04-7169-8468



大正煎餅 木川商店

- 店名に似つかわしく、レトロなガラス棚に煎餅を入れて販売する店構えが郷愁をそそります。人気商品は5日ばかりで作る揚げ煎餅。
- 営業時間 9:00~18:30
 - 定休日 月曜日
 - 我孫子市緑1-10-11
 - TEL04-7182-3223



子之神大黒天

境内には「金のわらじ」が奉納され、足腰の病にご利益があるとされる大黒天。毎年10月第4日曜には山伏が炎の道歩く「柴燈護摩火渡り」を開催。



志賀直哉邸跡

1915年から1923年まで暮らしていた当時の書齋が復元されています。年末年始を除く土・日曜日の10:00~14:00には内部を公開中。



手賀沼公園

岸边にはエサを求めてハクチョウなどが寄ってくることも。波の静かな日には貸しボートを楽しむこともできます。



文学の広場

手賀沼にゆかりのある文人を紹介したモニュメントや斎藤茂吉の歌碑がある広場

白樺派のカレー

大正時代にはハイカラな料理だったカレー。柳宗悦の兼子夫人が客人たちに振舞ったレシピを再現し、市内2軒のお店で提供するほか、レトルトカレーも販売されています。



手賀沼の夕日の美しさは、時代が変わっても、美しいものに動かされる心は変わらないことを教えてくれているようです。

「殊に夕日は美しかった。夕日が雲に反射して、それが手賀沼を金色に染めた。あんな静かな、あんな美しさは、彼が二年近く住んでいても、見たことがない程であった。人々はその美におどろき、又興奮した。彼はその珍しい美しさをその日の夕、特に恵まれたのを感じた。彼の運命が暗示されているように思えた」

隣の人々にとって格好の憩いの場となっています。



鳥の博物館

鳥だけを扱う全国初の博物館。手賀沼の自然を再現したジオラマや標本が充実して見ごたえあり。

- 開館時間 9:30~16:30
- 休館日 月曜(祝日の場合は翌日休)・館内整理日休・年末年始
- 大人300円、高校・大学生200円、小・中学生100円
- 我孫子市高野山234-3
- TEL04-7185-2212



水の館

手賀沼の魚を観察できる展示ホールやプラネタリウムが人気。手賀沼や富士山を望む4階展望室は「ちば眺望100景」の1つ。

- 開館時間 9:00~16:30(6~8月は~17:00)
- 休館日 月曜休(祝日の場合は翌日休)
- 入館料 無料
- 我孫子市高野山新田193
- TEL04-7184-0555

時代を経ても変わらない
水面に映える夕日に感動

ハケの道を抜けて大通りの交差点を渡ると、手賀沼の風景が開けてきます。手賀沼親水広場では四季の移ろいとともにさまざまな花が咲き、我孫子市の鳥であるオオバン(水鳥)をはじめ多種多様な鳥たちも棲息。季節ごとに趣の異なる風景が繰り広げられます。そんな手賀沼も干拓事業によって8割もの沼面が埋め立てられ、風景は大きく変貌してしまいました。一時は水質悪化が懸念されましたが、現在ではトライアスロン大会が開催されるほど水質も回復。ヨットやカヌーを楽しむ人たちも少なくありません。岸边に沿って遊歩道が続き、近隣の人々にとって格好の憩いの場となっています。



旧村川別荘

市の指定文化財となっており、バーナード・リーチが設計した三角椅子などが保管されています。市民ボランティアによるガイドあり。

- 開館時間 9:00~16:00
- 定休日 月曜休(祝日の場合は翌日休)
- 12月29日~1月3日、その他臨時休館日
- 入館料 無料
- 千葉県我孫子市寿2-27-9



大正7年、武者小路実篤は自ら抱いていた「新しき村構想」を実現するため、我孫子から宮崎に転居する決意をします。その送別会の日に眺めた手賀沼の美しさを武者小路は小説『或る男』に描きました。